

齋藤農林水産大臣の基本的姿勢について質問



農林水産大臣に対し質問



自民党の部会で予算確保を要望

12月5日に、齋藤農林水産大臣が就任して初めての参議院農林水産委員会において、農林水産行政に対する農林水産大臣の基本的姿勢について質問を行いました。

私からは、①食料安全保障の観点から食料自給率の向上と食料自給力の強化を図るための政策を国民に分かりやすく説明する必要性、②今年度で廃止される「米の直接支払交付金（農業者戸別所得補償政策）」についての農水省の評価、③農家の所得向上を図るための生産コスト削減に関し、農家所得の向上に直結する即効性の高い土地改良事業の具体的展開方向及び予算確保、④「水田活用の直接支払交付金（水田フル活用対策）」の農政上の位置付け及び予算確保、⑤米政策転換を円滑に進めるための生産現場への的確かつきめ細かな情報提供の在り方、⑥森林環境税（仮称）の早期創設・導入、⑦九州北部豪雨災害等で問題視された流木対策の具体的展開方向、⑧「水産業競争力強化緊急事業（漁船リース等）」の展開方向と予算確保、⑨中山間地域における先取組事例の横展開と中山間対策の今後の展開方向等について大臣、副大臣、政務官等に見解を求めました。

今後、米政策の転換や新たな森林管理システムの導入に向けた対応等、農林水産政策の動向を見極めていく必要がありますが、何よりも農林漁業者の所得向上と地域の振興を第一に考え精一杯取り組んで参ります。

質疑の詳細は、「参議院インターネット審議中継」をご覧ください。
<http://www.webtv.sangiin.go.jp/>

競馬法の一部を改正する法律が成立しました。

第195回国会（特別会）において、農林水産関係では、競馬法の一部を改正する法律が成立しました。地方競馬主催者の経営改善は一定程度進んでいるものの、構成元の地方公共団体に対する収益金の配分が進まず、地方競馬主催者の経営改善はまだ道半ばです。競走馬生産においては、競走馬需要の低迷、生産農家戸数の減少など引き続き厳しい状況にあり、地方競馬の活性化に必要な質の高い競走馬の供給を確保するためには引き続きその振興を図っていく必要があるため、地方競馬活性化のための業務等に資金を確保するための措置について期限が延長されました。生産振興や地方活性化のために必要な措置ですので、私も引き続き支援して参ります。



現場の実態や声を大事にしながら取り組みます

今後もあらゆる機会をとらえ、全国各地の現場の声を背景に、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、あくまでも現場主義、地域主義を基本として、国政の中で積極的に活動していきます。

参議院議員 進藤金日子



毎日元気に活動しています。

国政報告会を開催したり、各種総会等に参加させて頂き、多くの皆さんの声をお聴かせ頂いています。事務所にも多くの方にお越し頂いています。



全国各地から「農業農村整備の集い」に参加



長崎の農業農村整備事業推進大会で講演



熊本で国政報告会



全国漁連・信漁連会長・漁漁組合長合同会議に参加



農地海岸保全協会定期総会に副会長として参加



農林漁業者の皆さんと意見交換等

現場の声を大事にするため、各地にお邪魔させて頂き意見交換等を行っています。



大阪で水なす栽培農家の方と意見交換



山梨でハウス園芸の方と意見交換



長崎で農業者の皆さんと意見交換



東京都青梅市で自民党米作りプロジェクトの稲刈り

皆様からたくさんの質問や激励を
いただいています。

代表的なキャッチボールをご紹介します。



近年、効率的で高精度な機械作業が可能となる大区画農地整備に伴い、ICTの導入やかんがい施設の自動化が進んでいますが、具体的にはどのようなものでしょうか。(北海道)



労働力不足の中で更なる生産コストの削減を図っていくには、農地の大区画化や水利施設の合理化に加え、除草ロボット、ICTの導入、パイプライン化や給水の自動化等の新たな農業水利システムの導入、GPSによる農業機械の自動操舵システムや地下水位制御システム等の省力化等の技術を積極的かつ大胆に推進していく必要があり、制度や予算の充実が不可欠です。引き続き努力して参ります。



森林整備が進まないため、北部九州豪雨災害等でも問題となった流木が心配です。早急な対策をお願いします。(群馬)



国土交通省と農林水産省が実施した緊急点検において、早急な対策が必要とされた全国約1,200地区を対象に、おおむね3ヶ年間で流木捕捉式治山ダム(スリット式ダム)など短期的に効果の発現が見込まれる対策のほか間伐等の中長期的な災害に強い森林づくり対策等を緊急的、集中的に推進することとしており、引き続きその実現に向けて努力して参ります。



漁業の成長産業化に向けて、現場のニーズが高い水産業競争力強化緊急事業の今後の展開方向についてお聞かせください。(長崎)



本事業については、広域浜プラン等に基づくリース方式による漁船や機器等の導入などの水産業の体質強化の取組みを強力に支援するもので、11月24日に改訂された総合的なTPP等関連政策大綱や平成29年度補正予算にも盛り込まれており、着実な推進に努めてまいります。

皆様のご意見やご感想をお聞かせください。
お待ちしております。

参議院議員 **進藤金日子事務所**

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室
電話：03-6550-0719 FAX：03-6551-0719

毎日の活動については、進藤かねひこオフィシャルサイトをご覧ください。 <http://www.shindo-noson.jp>